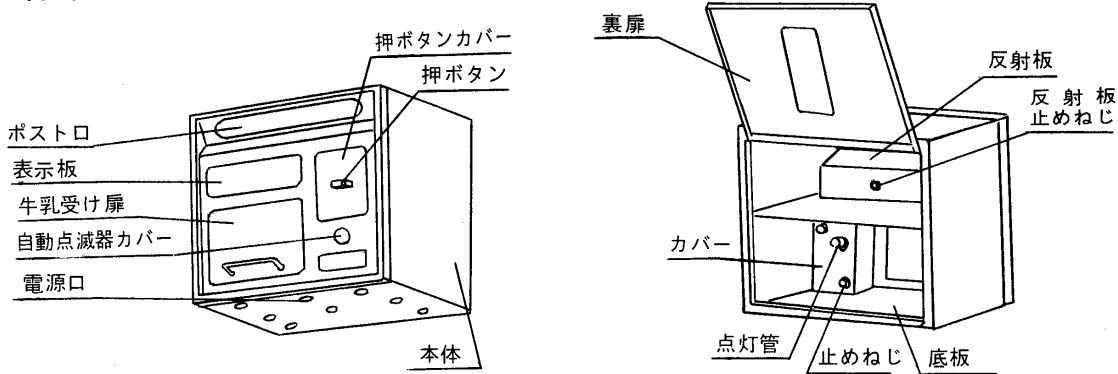


東芝ポスト灯 取扱説明書

ファミリーポスト® FBP-1604N

このたびは東芝ポスト灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの器具を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

● 各部のなまえ



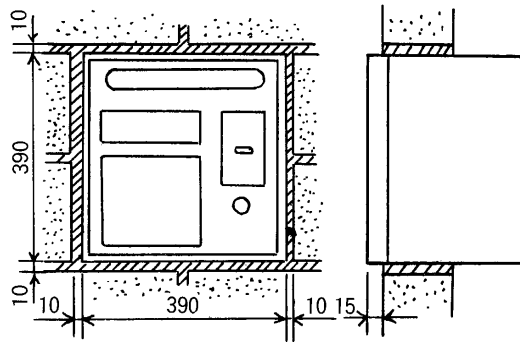
● 特にご注意を

- ① 必ず電源周波数に合った器具をお選びください。
蛍光灯器具には電源周波数が50ヘルツ (Hz) 用と60ヘルツ用の区別がありますので、地域の周波数に合った器具をお選びください (ご不明の場合はお買いあげの販売店におたずねください)。まちがえてご使用になりますと、ランプ寿命が短くなったり、過熱して焼損などのものになります。
(イ)贈物としていただいた場合などには特にご注意ください。
(ロ)電源周波数のちがった地域にご転居のときは部品の交換が必要です。お買いあげの販売店 (工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、周波数変換については実費を請求させていただきます。
- ② 器具を改造したり、部品を変更して使用しないでください。性能が十分に発揮できないばかりか大変危険です。
- ③ 必ずアースを取り付けてください。アースは法により第3種接地工事が必要です。

● 器具の取り付けかた

- ④ 塀に取り付ける場合 (ブロック塀・セメント塀・石塀)

この器具はブロック2枚分の大きさです。
塀に器具より20mmくらい大きめの穴をあけ、器具を入れます。このとき、器具の上面のシールがかくれる位置 (前面より15mm) にして、器具の周囲のすき間にモルタルをつめて固定してください。

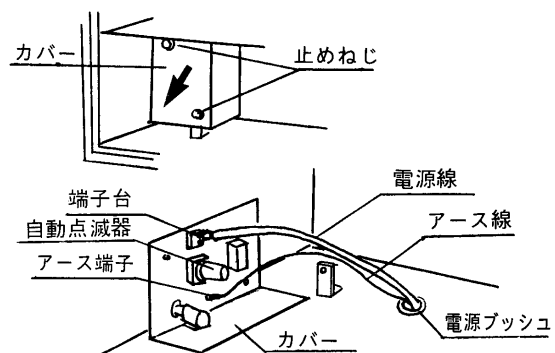


- ⑤ ポールまたはフェンスに取り付ける場合

ポスト灯取り付け用の専用ポールPBP-1および専用フェンス取付金具PBF-1を発売しております。ご利用になる場合は、PBP-1(PBF-1)に同梱されている取扱説明書により取り付けてください。

● 配線のしかた

- ① 裏扉をあけ、底板を取り出してください。
- ② 本体の底にある電源口のうちご使用になるノックアウトを打ち抜き、付属の電源ブッシュを内側よりはめ込んでください。
- ③ 止めねじ (2本) をはずし、カバーを手前にたおします。
- ④ 電源穴より、器具内に電源線を引き込みカバーの端子台に接続します。
- ⑤ アース端子より出ているコードにアース線を接続します。



- ⑥ コールチャイムを取り付ける場合 押ボタンスイッチより出ている引出線にチャイムを接続してください。使用するコールチャイムは“東芝コールチャイム”（別売）の24V以下の定格のものをお選びください。

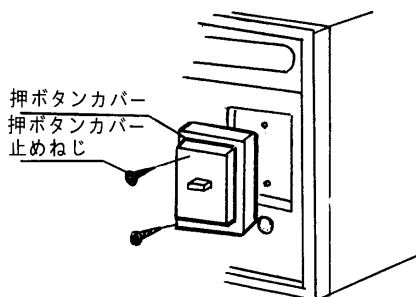
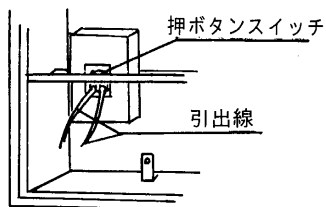
インターホンを使用する場合

押ボタンカバー止めねじをはずして押ボタンカバーをはずし、インターホン子機を取り付けます。

インターホンは“東芝インターホン”HT-D(別売)を取り付けてください。

《ご注意》

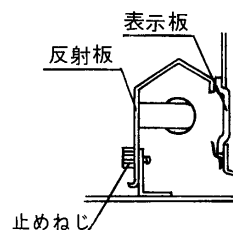
- インターホンには100V電源をつながないでください。
 - ポスト灯の100V配線とインターホンの配線を同じ電線管に入れしないでください。法で禁じられているとともに、インターホンが誤動作することがあります。
 - その他については、インターホンの取扱説明書をお読みください。
- ⑦ カバーをもとのように止めねじで固定します。（このとき、配線コードをカバーではさんだり、自動点滅器と自動点滅器カバーの間に入れないように注意してください。）
- ⑧ 底板を器具内に入れてください。
- ⑨ ランプや点灯管が完全に取り付けられているか確認してください。
- ⑩ この器具には自動点滅器が内蔵されていますので、器具取り付け場所が明るい場合は、一時ランプは点灯しますが、まもなく消灯します。昼間でも暗い場所ではランプが点灯したままになることがありますので、このときは自動点滅器を取りはずし、別に電源スイッチを設けて点滅してください。



※使用電源電線は、地上配線の場合、キャブタイヤケーブルをご使用ください。地中配線の場合はパイプを使用し、キャブタイヤケーブル、ポリエチレン外装ケーブル、ビニル外装ケーブル、クロロプレン外装ケーブルなどをご使用ください。

● ランプ交換のしかた

- ① 反射板止めねじ(2本)をはずし、反射板をはずします。
- ② 古いランプをはずして、新しいランプと交換してください。
- ③ 反射板を合わせ止めねじで固定します。（このとき、表示板の上部を図のように反射板でおさえてください。）

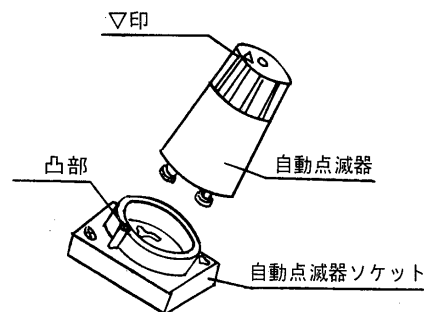


● 表示板の取り扱いかた

- ① 反射板をはずして、器具内側より表示板を持ち上げながら取り出します。
- ② 表示板のおもてに市販のエナメル塗料で名前などを書いてください。書き損じたときはアルコールで拭き消してください。ガソリン・シンナーは表示板をいためますので使用しないでください。

● 自動点滅器の交換のしかた

- ① 裏扉をあけ、止めねじ(2本)をはずし、カバーを手前にたおします。
- ② 自動点滅器を左に回してはずします。
- ③ 取り付ける場合は自動点滅器先端の▽印と自動点滅器ソケットの凸部を合わせ自動点滅器を右に回してください。

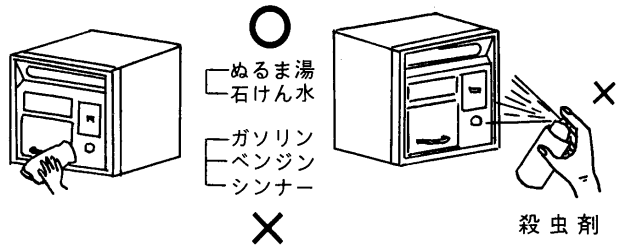


● **ご注意とお願い**

- ① ランプや点灯管、自動点滅器の着脱に際しては必ず電源を切ってから行なってください。
- ② ランプを交換の際には“東芝蛍光ランプ”6ワットとご指定ください。
- ③ 点灯管交換の際には“東芝点灯管”FG-7Eとご指定ください。
- ④ 自動点滅器交換の際には、“東芝フォトスイッチOS-1032”とご指定ください。

● **お手入れのしかた**

- ① 器具のお手入れは必ず電源を切ってから行なってください。
- ② 器具はぬるま湯または石けん水を浸した布をよくしぼってからふいてください。
- ③ 器具をいためますので、ガソリン・ベンジン・シンナーなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- ④ 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。
傷つけたり腐食の原因となります。
- ⑤ ランプは取りはずしてから、乾いた布でふいてください。



● **修理サービス**

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名(FBP-1604N)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社
住空間事業部

〒108 東京都港区三田1丁目4番28号
(三田国際ビル)
TEL (03) 457-6081

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください